



KYOTO UNIVERSITY OF THE ARTS GRADUATE SCHOOL

学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 大学院

2027年度 修士課程

学生募集要項

京都芸術大学 アドミッション・オフィス

〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山2-116

TEL 0120-591-200 E-MAIL graduate@office.kyoto-art.ac.jp

受付時間 月～土 9:00～17:30 (日曜・祝日・年末年始休業期間は受け付けできません。)

ソウル事務所

+82-(0)2-6953-2325

seoul@office.kyoto-art.ac.jp

台北事務所

+886 975-922-905

c-wu@office.kyoto-art.ac.jp

上海事務所

+86 156-1801-0354

shanghai@office.kyoto-art.ac.jp

目次

授与される学位／修業年限・在学年限／募集定員	02
出願資格	03
選考方法・入試スケジュール／説明会・教員面談	04
出願までの流れ／出願書類について	05
出願方法	06
出願書類(郵送/データ提出)	07, 08
指定提出物	09
検定料／個人情報の取り扱いについて	10
出願書類提出方法／受験票	11
口述試験・試験会場	12
障がいのある方の受験について／合格発表／入学手続／入学取消・入学辞退	13
学費・諸費用	14
特待生制度／奨学金制度	15
研究・制作・発表助成制度／取得できる資格等	16
教育訓練給付制度	17
よくある質問	18
アクセス	19

アドミッション・ポリシー

[芸術専攻]

修士課程芸術専攻は、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づいた人材の育成を目的とし、入学者の受入方針として以下の資質・能力を持つ者を求めています。

求める資質・能力

- 高度な研究・制作を遂行するための専門的能力
- 既存の価値観や枠組みにとらわれない柔軟な発想力
- 多様な価値観を尊重し、他者と誠実に向き合い、信頼関係を構築できること
- 国際文化交流や学術交流への意欲
- 日本語と英語の読解力・表現力を有していること
- 学修に支障のない基礎的日本語能力

上記の能力を持つ多様な入学希望者を評価するため、研究計画書、論文またはポートフォリオの審査、面談などを通じ、研究や表現技術の優劣に偏らない、多角的な評価基準を持つ総合的な入学試験を実施します。

[芸術環境専攻]

求める学生像および入学者選抜の基本方針は以下の通りです。

- 社会の課題に真摯に向き合い、みずからの力で解決をはかろうとする意欲を持っていること。
 - 芸術に関する基礎的な教養を有し、柔軟な思考とコミュニケーションの能力を有していること。
 - 各自の専門分野に応じて、修士研究・修士制作を遂行しうる基礎的な能力を有していること。
- ※日本語と英語の読解力・表現力を有していること。

※ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーはWeb サイトをご確認ください。

授与される学位

「修士(芸術)」または「修士(学術)」

※芸術文化研究、文化デザイン・芸術教育、建築・環境デザイン、超域制作学プログラムなどの専門領域の研究論文については、内容によって「修士(学術)」が授与されます。

修業年限・在学年限

修業年限	在学年限
2年	4年

募集定員

大学院〈修士課程 芸術専攻・芸術環境専攻〉の募集定員は以下の通りです。(A・B日程合計)

専攻	領域	分野	募集定員
芸術専攻	芸術実践 Contemporary Art Practice	油画、日本画、版画、写真・映像、彫刻・立体造形、陶芸、染織テキスタイル、パフォーマンス、アート&キュレトリアル・プラクティス(Art & Curatorial Practices)	60名
	芸術文化研究 Arts and Culture Studies	文化財保存修復、文化財科学、文化研究、考古学、日本庭園研究、文化政策、芸術理論・芸術史、美学、舞台演劇研究	
芸術環境専攻	情報デザイン・プロダクトデザイン	情報デザイン、グラフィックデザイン、ビジュアルコミュニケーションデザイン、デザインプロデュース、プロダクトデザイン	180名
	映像・メディアコンテンツ	アニメーション、キャラクターデザイン、ゲームデザイン、デジタルアート、映像、映画、コンテンツプロデュース	
	イラストレーション・パブリッシングデザイン	イラストレーション、ビジュアルアート、マンガ・コミックイラストレーション、絵本・ブックアート	
	文化デザイン・芸術教育	文化芸術教育〈アートコミュニケーション、リカレント教育支援、インクルーシブデザイン、文化芸術研究〉、地域文化デザイン〈カルチュラルデザイン、サーキュラーデザイン、地域ブランディング、コクリエーション(Co-Creation)、文化資源活用〉 ※上記の分野に関する修学地別のクラス・研究室が設置されます。	
	建築・環境デザイン	建築デザイン、インテリアデザイン、ランドスケープデザイン、都市・地域デザイン、日本庭園〈設計、保全、活用〉 ※上記の分野を横断して学びます。	
	超域制作学プログラム	名和ラボ、保科・大橋ラボ	

※複数の領域を併願することはできません。

※芸術実践領域アート&キュレトリアル・プラクティス(Art & Curatorial Practices)分野は、英語による指導や授業を受けることがあります。

※各専攻は国内学生コース(Domestic Students Track)、留学生コース(International Students Track)に分かれ修了要件が異なります。

詳細は Web サイトをご確認ください。

出願資格

①	日本の大学を卒業した者(2027年3月卒業見込の者を含む)
②	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者(2027年3月までに授与見込の者を含む)
③	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者で、学士の学位を授与された者(2027年3月までに授与見込の者を含む) ※日本語での修学能力のある者
④	我が国において外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者 (2027年3月までに取得見込の者を含む)
⑤	外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位を授与された者 (2027年3月までに授与見込の者を含む) ※日本語での修学能力のある者
⑥	指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者(2027年3月までに取得見込の者を含む)
⑦	防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者(2027年3月までに取得見込の者を含む)
⑧	大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認める者で2027年3月31日までに22歳に達する者

上記以外に文部科学省が定める大学院入学資格を有する方は、出願資格として認められます。
詳細は文部科学省Webサイト「大学院入学資格について」をご確認ください。

【注意事項】

- ・上記①～⑦において「見込」で出願する場合は、当該の要件を満たしたことを証明するものを入学時に提出してください。
- ・入学試験に合格し入学手続きをした方で、2027年3月末日までに出願資格の要件を満たさなかった場合は入学許可を取り消します。
- ・上記⑧に該当する場合は、出願期間の1ヶ月前までにアドミッション・オフィスへご連絡ください。

選考方法・入試スケジュール

選考は二段階方式で実施します。

[一次審査] 提出書類および指定提出物による審査。一次審査合格者のみ二次審査(口述試験)に進むことができます。

[二次審査] 一次審査の内容に口述試験の内容を加え総合的に評価し、最終可否判定を行います。

	A日程	B日程
Web出願登録	8月7日(金) 10:00～8月20日(木) 17:30 ※日本時間	11月23日(月・祝) 10:00～12月3日(木) 17:30 ※日本時間
出願書類提出	8月7日(金)～8月20日(木) 消印有効 ※海外からの出願は必着	11月23日(月・祝)～12月3日(木) 消印有効 ※海外からの出願は必着
一次審査合格発表	10月8日(木) 10:00	2027年2月1日(月) 10:00
口述試験*1	10月17日(土)～25日(日) ※いずれか1日(日程は選択できません)	2027年2月12日(金)～2月19日(金) ※いずれか1日(日程は選択できません)
二次審査合格発表	10月30日(金) 10:00	2027年2月26日(金) 10:00
入学手続	手続締切日 11月11日(水)	手続締切日 2027年3月10日(水)

*1 口述試験は対面形式・オンライン形式で行います。詳細はP.12を確認してください。

説明会・教員面談

各領域の担当教員が説明会および教員面談を実施します。面談や説明会への参加は必須ではありませんが、研究・制作内容について入学後のミスマッチを防ぐために開催しています。個別での教員面談は実施しておりません。教員への相談や質問がある方は、教員面談や分野別説明会に参加してください。

〈入学説明会・領域説明会/オンライン〉

日程	時間	申込期間
6月20日(土)	10:00～17:00 ※時間の詳細は後日お知らせ	6月3日(水)～20日(土)

【芸術専攻】〈教員面談/オンライン〉

日程	時間	申込期間
7月10日(金)・11日(土)	10:00～20:00 ※時間の詳細は後日お知らせ	6月20日(土)～7月9日(木)
11月13日(金)・14日(土)		10月24日(土)～11月12日(木)

※芸術文化研究領域の志願者で上記日程の参加が難しく、別日程の面談を希望する場合は、アドミッション・オフィスにご連絡ください。

【芸術環境専攻】〈分野別説明会/オンライン〉

日程	時間	申込期間
7月10日(金)・11日(土)	10:00～20:00 ※時間の詳細は後日お知らせ	6月20日(土)～7月9日(木)
11月13日(金)・14日(土)		10月24日(土)～11月12日(木)

[申込先]

<https://www.kyoto-art.ac.jp/graduate/admission/briefing/>



※応募人数によっては個別面談ではなく、グループ面談になる可能性があります。

※面談の際に論文や作品、ポートフォリオ等を提示してもかまいませんが、面談の目的はあくまでも本学大学院における

研究内容や計画、領域の確認のために行っており、論文や作品の批評・指導のためではありません。また、面談は入学試験とは一切関係ありません。

※教員個人のメールアドレスは公開しておりません。メールの取次も行っておりません。

出願までの流れ



出願書類について

全ての出願書類に当てはまりますので必ず確認してください。

証明書等の準備には時間がかかることが予想されますので、余裕を持って準備をしてください。

※PDF形式を含む電子版証明書を提出する場合は、個人の証明内容が確認可能なサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ原本と認めます。

サイトの有効期限が切れている場合は、証明書として認められませんのでご注意ください。

[証書が原本のみ1通しか発行されない場合、もしくは電子版証明書に個人の証明内容が確認可能なQRコードやURL等の記載がない場合(卒業証明書・「学士」学位取得証明書・成績証明書を含む)]
下記1または2の方法をとってください。

1. 公証役場で公証した証明書原本を提出
2. 卒業証書の発行機関で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印した書類を提出

※出身校の事情により上記の方法が不可能な場合は、事前にアドミッション・オフィスに相談してください。

[証明書が日本語・英語以外で書かれている場合]

日本語学校や翻訳会社などで翻訳が正しいという証明を受けた翻訳文を添付してください。
翻訳文のみの提出は不可とします。

原本が日本語または英語の場合	原本を提出
原本が日本語または英語以外の場合	原本+翻訳文の原本を提出

[証明書の発行に関して]

出身大学に関する証明書の発行日は問いませんが、
本学が内容の確認を要すると判断した場合には、追加書類の提出を求めることがあります。

出願方法

- ・ 出願および書類提出は、郵送手続きとデータ提出が必要です。
- ・ データ提出は、Web出願システムから行ってください。
所定書式は、大学Webサイトからダウンロードができます。
- ・ Web出願システムへの入力、出願期間と同一期間となります。〈P.4 選考方法・入試スケジュール参照〉
提出(「出願」ボタンをクリック)は、Web出願登録期間内に必ず完了するようにしてください。
- ・ Web出願システム画面の指示にしたがって入力・アップロードを行ってください。
- ・ Web出願システムへの入力、アップロード、出願書類および指定提出物の提出、
検定料の支払いをすべて出願期間内に行うことで出願が完了となります。

■ 出願上の注意事項

- ・ Web出願登録締切日 17:30(日本時間)までにWeb出願システムで手続きを完了してください。
- ・ 検定料の支払いは、Web出願システムの入力および書類のデータ提出後に可能となります。
未払いの状態では、出願を受け付けることが出来ません。余裕をもって手続きを行ってください。
- ・ ネットワークやPC等のデバイスの不調が発生し出願が間に合わなかった場合も、本学では一切責任を負いません。
- ・ 環境によっては情報入力途中でブラウザを30分以上放置するとシステムエラーとなり、
保存された時点に戻り、それまでに入力した情報は失われます。こまめな保存をお勧めします。
- ・ 入力を終えても、「出願」ボタンをクリックするまではWeb出願は完了していません。押し忘れにご注意ください。
- ・ 一度出願が完了すると、その後は入力内容や提出書類を修正することができません。
入力内容や書類の要件等をよくご確認のうえ、出願を完了してください。書類の差し替えはできません。
- ・ 出願書類に不備や不足書類があった場合は、出願を受け付けないことがありますので、十分注意してください。
また本学から連絡があった時は速やかにその指示に従ってください。
本学からの連絡は、登録されたメールアドレスへ送信しますので、
常時、登録したメールアドレスの受信確認を行ってください。

※登録するメールアドレスは携帯電話のアドレスでも構いませんが、
迷惑メールフィルタ設定(PCからのメールの受信拒否等)などで本学からのメールが到達しない可能性があります。
ドメイン(@office.kyoto-art.ac.jp)を受信指定してください。
迷惑メールフィルタ設定などによりメールが到達しなかった場合でも、本学は一切責任を負いません。

[Web出願システム]

<https://www.webentry-graduate.kyoto-art.ac.jp>



出願書類 (郵送 / データ提出)

出願書類(郵送/データ提出)を準備する前に、P.5「出願書類について」を必ず確認してください。
 その他、出願完了には、以下の手続きが必要です。

- ・ 出願は、Web出願システムから行ってください。
- ・ PDFデータを提出する際、暗号化されたPDFデータを提出する場合は、必ずパスワードを記載した書類を同封してください。
- ・ 提出方法には、郵送手続きとデータ提出どちらも必要な書類がありますのでご注意ください。
- ・ 出願書類の他に「指定提出物」のデータ提出が必要です。詳細はP.9に記載しています。

※以下は「芸術専攻」「芸術環境専攻」の出願に必要な書類です。「芸術専攻(通信教育)」とは異なります。

書類の種類		注意事項	提出方法		
			Web出願システム 直接入力	PDF提出	郵送
1	入学願書	<p>Web出願システムで出願登録が完了すると、出力できます。</p> <p>※出願登録完了後に入力内容に間違いが見つかった場合は、赤いペンで修正し、修正箇所が目立つようにしてください。</p> <p>※顔写真データ(正面、上半身、脱帽、背景無地、3ヶ月以内に撮影したもの)もアップロードしてください。アップロードできるファイル形式は、JPEG(拡張子「.jpg」「.jpeg」とPNG(拡張子「.png」)です。</p> <p>※スナップ写真、画質の悪いもの、データ加工等は避けてください。</p> <p>※アプリケーション等で顔を加工したものは不可とします。</p>	○		○
2	面接資料	<p>これまでの研究成果や制作物等について日本語で直接入力してください。</p> <p>※語学(英語、日本語)の各種能力試験に関する入力は任意です。(証明書提出は不要)</p>	○		
3	卒業(見込)証明書 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 原本 コピー不可 </div>	<p>卒業証書(Diploma / 毕业证书)ではなく、卒業証明書(Certificate of Graduation / 毕业证明书)を提出してください。</p> <p>※専攻科修了者(2027年3月修了見込を含む)は、本科・専攻科分の証明書を提出してください。</p> <p>※学位授与機構から学士の学位を授与された方は、学位授与証明書(授与見込の方は授与申請を受理した証明書)を提出してください。</p> <p>※証書しか発行されない場合は、P.5「出願書類について」を確認してください。</p> <p>※中国本土の教育機関を卒業された方はCHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の証明書でも構いません。</p>			○ (原本)
4	「学士」学位取得証明書 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 該当者のみ 原本 コピー不可 </div>	<p>出願資格③または⑤(P.3)に該当する方(外国の大学を卒業の方)は提出してください。</p> <p>※取得した学位(Bachelor)などについて卒業証明書に記載がある場合は不要です。</p> <p>※証書しか発行されない場合は、P.5「出願書類について」を確認してください。</p> <p>※中国本土の教育機関を卒業された方はCHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の証明書でも構いません。</p>			○ (原本)
5	成績証明書 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 原本 コピー不可 </div>	<p>書類をA4サイズでPDF化のうえ該当箇所にアップロードし、原本を郵送で提出してください。</p> <p>入学年度から卒業年度までの成績状況が記載されているものを提出してください。学位取得に関する全ての成績が必要です。</p> <p>※編入学をされている場合は、編入学前の成績状況も併せて提出してください。</p> <p>※中国本土の教育機関を卒業された方はCHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の証明書でも構いません。</p>		○	○ (原本)
6	学位認証書 (中国語可) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 中国の大学卒業者のみ 香港、台湾、マカオの 大学卒業者は対象外 </div>	<p>書類をA4サイズでPDF化のうえ該当箇所にアップロードしてください。</p> <p>中国本土の教育機関を卒業された方は、「CDGDC(中国教育部学位与研究生教育发展中心)」もしくは「CHSI(中国高等教育学生信息网)」が発行する「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」をダウンロードして提出してください。</p> <p>※発行申請の詳細については各ホームページで確認してください。</p> <p>※申請から発行まで1~2ヶ月かかることもあるようです。</p> <p>早めに申請手続きをされることをお勧めします。</p> <p>※CDGDCもしくはCHSI以外の学位認証機関が発行した認証書は不可です。</p>		○	

7	提出物申請書	<p>本学所定の用紙を本学Webサイトからダウンロード・印刷し、データ提出を行った指定提出物の内容を記入してください。該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。</p> <p>※提出物申請書には、指定提出物として提出するすべての論文・作品等が志願者本人による執筆・制作であることに相違ないことの確認と、その誓約としての志願者本人による署名・押印が必要となります。</p> <p>※署名欄が未記入や記入不備の場合は、指定提出物の提出がないものとみなし、出願を受理できない場合があります。</p>		○	○ (署名必須)
8	封筒貼付用宛名シート	<p>本学所定の用紙を本学Webサイトからダウンロード・印刷し、必要事項を記入し、市販の封筒に貼付してください。</p> <p>※詳しくはP.11「出願書類提出方法」を参照してください。</p>			○

外国人留学生は以下の必要書類を併せて提出してください。

本学に在籍する大学院特別研究生は、11～14については不要です。

※外国人留学生とは、すでに「留学」の在留資格を保有している者、または本学入学時に「留学」の在留資格を取得できる者です。

※外国籍であっても就労が認められる在留資格や「永住者」「定住者」「配偶者」など「留学」以外の在留資格による受験の場合、

留学生には該当しませんが、在留資格の確認のため、パスポートおよび在留カードのコピーはご提出ください。

書類の種類	注意事項	提出方法		
		Web出願システム 直接入力	PDF提出	郵送
9 パスポート	氏名および顔写真が記載されたページをPDF化のうえ該当箇所へアップロードしてください。		○	
10 在留カード 該当者のみ	在留カードを所持している方は、表面・裏面両方のPDF化した書類をアップロードしてください。 ※裏面が無記入の場合でも必ずコピーを提出してください		○	
11-1 出席状況証明書・ 学業成績証明書 該当者のみ	日本語学校在籍者(または修了者)は、日本語学校の「出席状況証明書」と「学業成績証明書」をPDF化のうえ該当箇所へアップロードし、原本を郵送で提出してください。 ※日本の大学等に研究生等で在籍している場合は、「在学証明書」を提出してください。 ※在籍期間が短く、日本語学校から発行できない場合は提出不要です。		○	○ (原本)
11-2 日本語能力について 該当者のみ	11-1に併せて、本学所定の書式「日本語能力について」に日本語学校で記入・捺印を受けたものをPDF化のうえ該当箇所へアップロードし、原本を郵送で提出してください。 【以下の場合提出不要】 ・「学業成績証明書」に同様の所見欄があり、記入がある場合。 ・すでに日本語学校を卒業、修了している等により所見記入ができない場合。 ・在籍期間が短く、日本語学校が記入できない場合。		○	○ (原本)
12 留学経費 支弁誓約書	本学所定の用紙を本学Webサイトからダウンロード・印刷し、記入してください。留学生経費支弁者(以下、支弁者)または志願者本人が直筆で記入してください。			○ (署名必須)
13 志願者本人と留学 経費支弁者の関係を 明らかにする書類 該当者のみ	支弁者が親族の場合、提出は不要です。 支弁者が親族でない場合は、志願者と支弁者との関係や支弁理由等、事情が詳しくわかる説明文が必要です。		○	
14 留学経費支弁者の 年間の所得などを 公的に証明する書類 1年以内に 発行されたもの	上記12に記載された内容の前提となる公的書類一式をアップロードしてください。支弁者の年間所得証明書等になります。 ※自営業、フリーランスなど年間所得証明書の発行が出来ない場合、銀行の預金残高証明書を提出してください。利用明細は認められません。 ※提出していただいた書類以外に別の書類の提出を求めている場合がありますのでご了承ください。		○	

指定提出物

指定提出物として、下記を提出してください。志願領域により提出物が異なりますので注意してください。
指定提出物はWeb出願システムから全てデータで提出してください。

【注意事項】いずれの指定提出物も郵送では受け付けられません。提出されたデータは審査終了まで保管し、2027年3月末日に破棄します。

【指定提出物1】

研究計画書	<p>大学院で研究を希望する内容(テーマ、方法、現時点までの成果、今後期待される成果等)に関して、研究年次進行計画を含めて記述してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語 1,200 ~ 2,000 字程度で記述してください。 ・芸術実践領域アート&キュレトリアル・プラクティス (Art&Curatorial Practices) 分野志願者は、日本語 1,200 ~ 2,000 字程度または英語 600 ~ 1,000 語程度で記述してください。 ・A4用紙設定(縦位置)に横書き 40文字×25 行程度で記載し、1MB 以下のPDF形式で提出してください。 <p>※図版や表を含む場合、その中の文字数は含みません。 ※冒頭1行目にタイトル、その下に氏名を記入してください。 ※各ページ下部に、ページ番号を記載してください。 ※生成AIおよび自動翻訳ソフトに著しく依存しているとみなされる場合、あるいは上記の指示に適合しない内容である場合には減点の対象となります。</p>
-------	---

【指定提出物2】

小論文 (英語)	<p>以下のテーマについて 500 ~ 1,000 語程度の英文で記してください。 テーマ：修士課程修了後のキャリアプラン</p> <p>※研究計画の概要を記すとともに、それを踏まえて、修士課程を修了した後の進路や、どのような仕事に携わろうとしているのかなど、現時点での希望的な計画を記してください。 ※芸術実践領域アート&キュレトリアル・プラクティス (Art&Curatorial Practices) 分野志願者は研究計画書に「国際的に活躍することを具体的にどのように想像しているか。」という内容を含んでください。 ※文末に語数を明記してください。 ※A4用紙設定(縦位置)に横書き 1 ページ程度で記載し、1MB 以下のPDF形式で提出してください。 ※生成AIおよび自動翻訳ソフトに著しく依存しているとみなされる場合、あるいは上記の指示に適合しない内容である場合には減点の対象となります。</p>
----------	---

【指定提出物3】 以下【A】【B】のいずれかひとつを選択し提出してください。 ※芸術文化研究領域志願者は必ず【A】を提出してください。

【A】 論文	<p>志望する研究分野の論文を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文は日本語 8,000~12,000 字程度で記述してください。 ・A4用紙設定(縦位置)に横書き 40文字×25 行程度で記載し、20MB 以下のPDF形式で提出してください。 ・論文に加えて、概要や参考資料を提出する場合もデータをひとつにまとめて提出してください。 <p>※志望する研究分野に関する卒業論文が完成している場合は、そのまま提出してください(外国語で書かれている場合は、日本語の翻訳の添付が必要です)。 ※志望する研究分野に関する卒業論文が完成していない場合、執筆中の卒業論文の概要等を上記字数にまとめたものを提出してください。 ※大学での専攻と本学大学院での志望研究分野が異なる場合、本学で志望する分野の論文に加えて、ご自身の卒業研究等に関わる資料(卒業論文の要旨、ポートフォリオ等)を参考資料として提出してください。 ※図版や表を含む場合、その中の文字数を本文の文字数に含めないでください。レイアウトは自由とします。 ※上記以外で研究の実績や内容を示す資料を提出希望の場合は、参考資料として「指定提出物3」のデータにまとめて提出してください。</p>
【B】 ポートフォリオ	<p>これまで自身が制作してきた制作物を中心に内容を構成してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A3サイズ相当以内、表紙等を含め、30 ページ程度にまとめてください。 ・20MB 以下のPDF形式で提出してください。 <p>※情報デザイン・プロダクトデザイン領域、映像・メディアコンテンツ領域、イラストレーション・パブリッシングデザイン領域の志願者は、表紙等を含め、5 ページ以上 15 ページ以内にまとめてください。 ※サイズの規定は設けません。審査はデータを印刷せずに画面表示で行います。 必要に応じて画面内で部分拡大を行います。 ※アニメーション等、映像制作を専門とする分野へ出願する場合は、作品をインターネット上で閲覧・視聴できる形式で提出することを推奨します。ポートフォリオには作品へのリンクを埋め込んだ URL を記載し、URL をクリックすると作品を確認できる状態であることが望ましく、QR コードのみの掲載は控えてください。 設定されたリンク先の内容は口述試験が終了するまで変更不可です。 変更が行われた場合は、審査対象外となる場合があります。 パフォーマンスに関連する制作を希望する人で、自身の演出作品や出演作品等の映像記録についても同様とします。</p>

検定料

35,000円

検定料はWeb出願システムから出願期間内に必ず納入してください。
Web出願システムの入力および書類のデータ提出後に納入可能となります。
納入の際は入学検定料の他に別途手数料が必要です。
下記いずれかの支払い方法を選択してください。

①	指定コンビニエンスストアでの支払い
②	クレジットカードを利用した支払い

なお、決済はSBペイメントサービス株式会社提供の決済システムを使用しています。
そのため、入学検定料支払いの手続きはSBペイメントサービスの外部サイトに接続して行います。

※クレジットカードを選択した場合、出願情報の登録完了と同時に支払いが完了となります。
※検定料の納入後は、出願内容の変更、検定料の返還が一切できません。納入前に、出願内容の確認を必ず行ってください。

個人情報の取り扱いについて

本学では、入学試験時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、
入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。
その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な安全管理を行います。
個人情報の取り扱いについて不明な点等がありましたら、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

出願書類提出方法

Web出願システムでの手続きを行ったうえで、
郵送手続き書類の出願書類一式を出願期間内に郵送または持参により提出してください。

<p style="text-align: center;">郵送</p>	<p>出願期間の[消印有効]</p> <p>※海外から送付の場合は出願期間の最終日「必着」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>〈国内在住者〉 市販の封筒に、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼付し、必要書類を同封して郵便局窓口から簡易書留速達で郵送、または宅配便などの追跡ができる郵送方法で送付してください。</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>〈海外在住者〉 市販の封筒に必要書類を同封し、「大学院入試出願書類在中」と表書きして、国際宅配便（EMS、DHL、UPS、FedEx等）で発送してください。</p>   </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>送付先 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2番地116号 京都芸術大学 アドミッション・オフィス 大学院担当 宛</p> <p>Address Kyoto University of the Arts Admissions Office 2-116, Uryuyama, Kitashirakawa, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8271, JAPAN (TEL +81 75-791-9833)</p> </div>
<p style="text-align: center;">持参</p>	<p>アドミッション・オフィス窓口へ提出 受付時間 月～土 9:00～17:30 日曜・祝日は受け付けできません。</p> <p>※持参の場合も市販の封筒に封筒貼付用宛名シートを貼付してください。 ※締切日は窓口が大変混み合いますので、日程に余裕を持って提出するか、できるだけ郵送してください。</p>

【注意事項】

- ・ 出願書類に不備がある場合は受理できません。出願書類をよく確認のうえ提出してください。
- ・ Web出願システムでの申請および出願書類の郵送提出が出願期間中に行われなかった場合は、出願を受理できません。
- ・ 出願期間外に届いた書類の受理はしません。一部の書類のみ後日提出することも認められません(本学が追加書類の提出を指定した場合を除く)。
- ・ 一旦受理した出願書類および検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願書類提出後の志望領域および指定提出物の変更はできません。
- ・ 出願書類上の記入内容(住所等)に変更があった場合は、速やかにアドミッション・オフィスに連絡してください。
- ・ 出願書類に虚偽の記載があった場合、合格・入学許可を取り消すことがあります。
- ・ 出願書類の到着に関する問合せには対応しません。利用した輸送機関の追跡サービスで確認ください。

受験票

受験票及び試験日程については、一次審査合格発表後、合格者へのみWeb出願システムよりご連絡します。
登録したメールアドレス宛に、“graduate@office.kyoto-art.ac.jp”よりメッセージが届きましたら、マイページにログインし、受験票を確認してください。

- ※試験日の1週間前になっても受験票が発行されない場合は、アドミッション・オフィスまでお問合せください。
- ※一次審査で不合格となった方には、受験票は発行しません。

口述試験・試験会場

- ・一次審査合格者のみ口述試験に進むことができます。
- ・口述試験は、修士課程で希望する研究・制作計画に関する口頭発表(10分程度)と、その後の質疑応答が中心となりますので、あらかじめ準備をして臨んでください。
- ・口頭発表では、これまでの成果ならびに入学後の研究計画について具体的に述べてください。
- ・口頭発表後の質疑応答では、語学力を問う場合があります。

芸術専攻：対面形式

〈試験会場〉京都芸術大学 瓜生山キャンパス(京都府京都市左京区北白川瓜生山 2-116) ※P.19「アクセス」参照

〈口述試験日程〉

A日程	10月24日(土)・25日(日)のいずれか1日 ※日程は選択できません
B日程	2027年2月16日(火)・17日(水)・18日(木)のいずれか1日 ※日程は選択できません

- ・口述試験の集合時刻は、試験開始の20分前です。開始時刻・集合場所等については、受験票にて案内します。
- ・試験会場には、受験者本人が一人で速やかに搬入、搬出、開梱、梱包可能な範囲のものに限り、口頭発表内容の参考となる研究資料等を持参することができます。※参考となる研究資料：口頭発表内容のレジュメおよび参考資料、制作物(作品)など。
- ・口頭発表内容のレジュメおよび参考資料を用意する場合は、3部ずつ準備してください。
- ・試験当日には必ず受験票をダウンロード、印刷してお持ちください。
- ・試験開始時刻に遅刻した場合は、試験放棄(欠席)とみなし、口述試験は受験できません。

〈特記事項〉 下表の分野に該当する志望者は特記事項欄を必ず確認してください。

志望分野	特記事項
日本画、油画、版画	50号以内の実作品を当日必ず持参すること (持参のない場合、口述試験は受験できません)。
写真・映像	参考となるポートフォリオ・制作物 (作品・アートブックなど)を必ず持参すること。
アート&キュレトリアル・プラクティス (Art & Curatorial Practices)	口頭発表は、日本語または英語で行ってください。 質疑応答は日本語および英語で行います。

芸術環境専攻：オンライン形式

〈試験会場〉オンラインにて実施

〈口述試験日程〉

A日程	10月17日(土)～25日(日)のいずれか1日 ※日程は選択できません
B日程	2027年2月12日(金)～19日(金)のいずれか1日 ※日程は選択できません

- ・口述試験の集合時刻は、試験開始の15分前です。参加方法・開始時刻については、受験票にて案内します。
- ・口頭発表はスライドなどを使用した画面共有も可能です。
- ・試験開始時刻に出席していない場合は、試験放棄(欠席)とみなし、口述試験は受験できません。

〈オンライン形式 - 留意事項〉

- ・事前に接続チェックを行います。受験票にて案内しますので、必ずご確認ください。
- ・インターネット通信環境が整っている状態を確保し、試験時間中は同室に受験生本人のみが居る状況で受験してください。
※不正防止のため、他者の同席は不可とします。また、周囲の環境を映していただく場合があります。
- ・受験生による撮影・録音・録画・他所へのオンライン等による中継、試験内容のメモ等は一切禁止します。
- ・万が一、不正行為が発生した場合には受験を無効とする場合があります。

障がいのある方の受験について

障がいがあり、受験および修学に際して特別な配慮が必要な場合は、出願前に必ずアドミッション・オフィスに連絡し、面談を受けてください。面談では、受験上の配慮および修学上の支援についての対話をします。

- (1) 面談の申し込みは、各出願期間の1ヶ月前までに行ってください。その際、下記QRコードより「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請フォーム」に入力し、送信してください。送信後、アドミッション・オフィスから連絡をいたします。5日以内に連絡がない場合はお電話ください。
- (2) 面談の内容により「診断書」や主治医の所見等の提出を求める場合があります。

【お問い合わせ先】

アドミッション・オフィス 0120-591-200
メールアドレス graduate@office.kyoto-art.ac.jp



合格発表

	A日程	B日程
一次審査合格発表	10月8日(木) 10:00	2027年2月1日(月) 10:00
二次審査合格発表	10月30日(金) 10:00	2027年2月26日(金) 10:00

- ・合格発表は、Web出願システムのマイページから確認してください。
- ・合格発表時の郵送物はありません。

※一次審査結果および二次審査結果の郵送物はありません。Web出願システムのマイページで結果を確認してください。
※二次審査合格発表後、合格者はWeb出願システムのマイページ上で入学手続書類をダウンロードしてください。
速やかに確認し、必要な手続きを行ってください。期日までに手続きが行われない場合、入学辞退とみなしますのでご注意ください。
※ポートフォリオを含む指定提出物の審査結果に対し、出願者からの質問には一切、お答えできません。

入学手続

- ・Web出願システムのマイページ上でダウンロードした書類を確認し、入学手続締切日までに「初年度学費(前期分)」または「初年度学費(年間分)」を納付してください。期日までに手続きを行わない場合、入学辞退とみなします。
- ・入学手続者には手続締切日以降に「入学許可書」を郵送します。
- ・B日程で合格した外国人留学生在が在留資格を取得していない場合、「留学」の在留資格取得が入学までに間に合わない可能性があります。書類確認後、速やかに手続きを行ってください。

入学取消・入学辞退

- ・入学取り消しとなった場合、入学金を除く入学手続時納入金を返還いたします。
- ・入学手続後、入学を辞退する場合、入学金を除く入学手続時納入金を返還いたします。電話にて「辞退届」をアドミッション・オフィスに請求してください。
- ・辞退連絡および「辞退届」請求期限は2027年3月31日(水)17:30までです。
- ・「辞退届」に必要事項を記入後、アドミッション・オフィスに提出してください。

※辞退することが確定してから「辞退届」を請求してください。見込段階での請求はご遠慮ください。
※「辞退届」を受理してから返金まで、半月から1ヶ月程度かかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※請求期限を過ぎた場合、理由のいかんに関わらず返還できません。
※返還先が日本国外の場合、返還時の振込みや送金にかかる手数料は本人負担(返金額から差し引いての送金)となります。

学費・諸費用

初年度学費は入学金250,000円、保険料※1(保険期間：2年間)2,430円、授業料、施設・設備費の合計です。入学に際して「留学」の在留資格を取得される外国人留学生の方は留学生コース(International Students Track)の対象となり、上記に加えてサポート体制費用※2 2,440円(年間分)、留学生支援費※3 260,000円(年間分、日本文化の理解・日本語能力の向上・キャリア支援の費用)が必要です。授業料・施設設備費は領域によって異なるため、以下より確認してください。

(単位：円)

専攻	領域	授業料(年間分)	施設・設備費(年間分)
芸術専攻	芸術実践(Contemporary Art Practice)	1,320,000	320,000
	芸術文化研究(Arts and Culture Studies)	1,050,000	130,000
芸術環境専攻	情報デザイン・プロダクトデザイン	670,000	100,000
	映像・メディアコンテンツ		
	イラストレーション・パブリッシングデザイン		
	文化デザイン・芸術教育		
	建築・環境デザイン		
超域制作学プログラム			

・金額は2027年度入学者用です。学費は変動することがありますので、あらかじめご了承ください。

(合格発表時にマイページ上でダウンロードする「入学手続要項」でご確認ください)

・初年度学費の前期分は、入学金、保険料の全額と、授業料、施設・設備費の半額の合計です。

後期分の授業料、施設・設備費は例年入学後の11月上旬が納入期限となっています。

※1 学生預り金として保険料2,430円(学生教育研究災害傷害保険料1,750円、学研災付帯賠償責任保険料680円)が必要です。正課・課外活動中の災害や事故、通学中の傷害等に備えて全員加入する保険です。

※2 留学生の危機管理サービスとしてサポート体制費用2,440円(メディカルアシスタンスサービス利用料1,980円、補償制度費用保険料460円)が必要です。

※3 留学生支援費には日本文化および日本語の理解を深めるための科目の受講料等が含まれます。入学に際して「留学」の在留資格を取得される外国人留学生の方は、留学生コース(International Students Track)の対象となり、各自の専攻科目の他に「日本文化・日本語理解科目(修了要件:16単位)」の受講が必要です。

〈入学金の免除・減免〉

京都芸術大学卒業生・卒業見込者は、入学金250,000円が免除されます。

京都芸術大学通信教育部卒業生・卒業見込者は、入学金が30,000円減免され、220,000円になります。

〈留学生支援費の免除〉

京都芸術大学卒業生・卒業見込者は、留学生支援費260,000円が免除されます。

〈勤労学生の所得控除〉

勤労学生控除とは、納税者が所得税法上の「勤労学生」に当てはまる場合に受けられる所得控除です。

詳しくは勤務先の給与担当部署や、所轄の税務署にお問い合わせください。

特待生制度

本学大学院で学ぶことを強く志望し、特に優秀な学生のうち経済的支援が必要な方に対して

2年間の授業料の1/3相当額を免除する制度です。A日程の入試を受験された方の中より、若干名を選抜します。

※採用後に本学を中途退学する場合や特待生として著しく適性を欠くと認められた場合は、特待生としての資格を取り消します。

※選抜された方は2年間特待生となりますが、1年次の成績・授業態度により2年次の免除を取り消す場合があります。

〈選抜要項〉

対象者	期間	選考方法	人数
・入学試験A日程の入学者 ・入学試験の成績優秀者のうち、世帯年収が600万円以下の者	2年間	入学試験の成績により判断	若干名

奨学金制度

修士課程を対象とした2026年度奨学金の例です。いずれも書類審査、学業成績等による選考があります。

応募資格等は各奨学金の募集要項により異なります。詳細は、入学後に確認してください。

【独立行政法人 日本学生支援機構奨学金】

独立行政法人日本学生支援機構が、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると思われる優れた学生であって、経済的理由により修学に困難があるものに対して学資を貸与する制度です。

※2026年度入学貸与額

第一種(無利子貸与)：修士課程 月額50,000円または月額88,000円から選択。

第二種(有利子貸与)：5、8、10、13、15万円から金額を選択。

※授業料後払い制度

授業料後払い制度は、「授業料支援金(最大776,000円)」と「生活費奨学金(月額0円、2万円、4万円から選択)」を無利子で貸与する制度です。卒業等した後、貸与奨学金として所得に応じて金額の返還が必要です。

【佐藤国際文化育英財団奨学金】

美術の実技(日本画・油画・版画等)を専攻している日本人学生及び海外からの留学生を対象とした奨学金制度です。

月額：30,000円(2年間給付)

【日本文化藝術財団奨学金】

財団の定める条件を充たし、文化・芸術のあらゆる分野で将来にわたり活動が期待され、才能・可能性が認められる日本人学生及び海外からの留学生を対象とした奨学金制度です。

年額：500,000円(単年度給付)

【外国人留学生対象の奨学金】

私費外国人留学生を対象とした2026年度奨学金の例です。いずれも書類審査、学業成績等による選考があります。

応募資格等は各奨学金の募集要項により異なります。詳細は、入学後の留学生ガイダンスで確認してください。

【重要】外国人留学生とは

外国人留学生とは、すでに「留学」の在留資格を保有している者、または本学入学時に「留学」の在留資格を取得できる者です。外国籍であっても「永住者」「定住者」「配偶者」など「留学」以外の在留資格による入学の場合、外国人留学生の各種免除・奨学金の受給対象にはなりませんのでご注意ください。

主な学外奨学金 ※下記の学外奨学金は年度によって、募集内容等が異なる場合があります。

- ・文部科学省外国人留学生学習奨励費(日本学生支援機構) 月額：48,000円(給付)
- ・(公財)ロータリー米山記念奨学会奨学金 月額：140,000円(給付)
- ・(公財)平和中島財団奨学金 月額：150,000円(給付)
- ・(公財)神林留学生奨学会奨学金 月額：140,000円(給付)
- ・(公財)張鳳俊(チャンボンジュン)奨学基金奨学金 月額：50,000円(給付)
- ・(公財)朝鮮奨学会奨学金 月額：40,000円(給付)

研究・制作・発表助成制度

学生が自ら企画し、主体性のある活発な共同研究に対する研究・制作・発表を支援することを目的に「研究・制作・発表助成制度」を設けています。特に、国際的な活動に対して支援を行っています。学生からの申請の後、書類審査やプレゼンテーションなどの厳正な審査を経て、採択される活動や助成金額が決定します。

※参考として、2025年度に実施した研究・制作・発表助成制度の制度内容や実績を記載しています。詳細は入学後にご確認ください。

〈2025年度実績〉

採択件数	6件
助成額	25万円～40万円程度

取得できる資格等

【芸術教育士資格】

本大学院では、対象領域を修了することで芸術教育士1級の資格を取得することができます。

取得が可能な資格	対象領域	取得の条件
芸術教育士1級	文化デザイン・芸術教育領域	修了要件を満たして修了すること

資格を維持するためには4年毎の更新申請が必要です。申請までに1回以上の芸術教育関連学会での発表等を行うことが更新の要件です。

【建築士資格に関する大学院における実務経験】

建築・環境デザイン領域は、「実務経験の要件となるインターンシップを実施する大学院」です。所定の単位を習得した場合に、実務経験2年、又は、1年が証明されます。

	実務経験2年	実務経験1年
必要単位数(合計)	30単位以上	15単位以上
インターンシップ科目	14単位以上	4単位以上

※証明の対象となるスタジオを受講する必要があります。
※大学院修了は、建築士試験の受験資格「建築に関する学歴(要件)」には該当しません。
※受験資格の詳細は、公益財団法人建築技術教育普及センターのホームページで確認できます。

教育訓練給付制度

修士課程は、教育訓練給付制度(一般教育訓練給付)の指定講座となっています。
教育訓練給付制度は、厚生労働省が実施している雇用対策事業のひとつです。
受講を開始する段階で厚生労働省の定める条件を満たしている方*が
指定講座に入学し、課程を修了すると、個人が負担した受講料の一部が、
教育訓練給付金としてハローワーク(公共職業安定所)を通じて支給されます。

※次の①または②に該当し、指定講座を修了した方が主な対象者です。

①	雇用保険の被保険者* (在職者)	一般教育訓練の受講開始日に雇用保険の被保険者である方のうち、 支給要件期間が3年(初めて教育訓練給付金を受給する場合は1年)以上ある方
②	雇用保険の被保険者* であった方(離職者)	受講開始日に被保険者でない方のうち、被保険者資格を喪失した日(離職日の翌日)以降、 受講開始日までが1年以内(妊娠、出産、育児、疾病、負傷などで 教育訓練給付の適用対象期間が延長された場合は最大20年以内)であり、 かつ支給要件期間が3年(初めて教育訓練給付金を受給する場合は1年)以上ある方

※被保険者とは、一般被保険者及び高年齢被保険者をさします。

- 上記要件に加え、平成26年10月1日以降、教育訓練給付金を受給した場合は、
前回の教育訓練給付金受給日から今回受講開始日前までに3年以上経過していることが必要です。
- 上記の①および②以外のケースであっても支給対象となる場合、あるいは雇用保険の状況により支給を受けられない場合があります。
受給資格要件の詳細等については、必ず各自でハローワークまたは厚生労働省ホームページ等で確認してください。
- ハローワークへの手続きは、受講修了日(学位授与式・卒業式)の翌日から原則として1ヶ月以内に受講者自らで行ってください。
- 教育訓練給付金は、在学中に支給されるものではありませんので注意してください。
- 2026年6月時点でこの要項を作成しています。法律が改正されて、内容が変更されることがあります。
詳しくは入学後のガイダンス等で説明します。

[参考]

厚生労働省・教育訓練給付制度に関するページ

[URL]https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

厚生労働省・教育訓練給付制度に関するQ&A

[URL]<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000197028.html>

よくある質問

Q 大学院の教員と直接連絡が取りたいです。

A 教員の連絡先をお伝えすることはできません。また、メールの転送等も承っておりません。研究領域の相談等で面談をご希望の場合、入学説明会で行われる教員面談の予約申し込みをしてください。

Q 修士課程で指導教員は指名できますか。

A 論文及び実技指導教員とも入学後に研究テーマ等を考慮して大学が指名・決定します。

Q 授業は全て日本語で行われますか。

A 原則、授業は全て日本語で行われます。一部のプログラムは英語での実施も行います。

Q 修士・博士課程に入る前に研究生として在籍できますか。研究生制度はありますか。

A 本学に研究生制度はありません。

Q 留学生用の入試はありますか。また留学生が入試に出願する際に日本語試験の要件はありますか。

A 大学院の留学生専用入試は設けておりません。また、大学院の出願要件に日本語試験に関する要件は設定しておりません。ただし、P.3 出願資格にある通り、日本語での修学能力が必要です。

Q 出願資格があるかを事前に確認したいです。

A トラブル防止のため、出願資格に関する個別の事前確認は行っておりません。出願期間に提出された書類で出願資格を確認します。必ず各自で募集要項P.3に記載の出願資格を確認のうえ、自身が該当するかを判断してください。

Q 専門学校の証明書は必要ですか。

A 出願書類に専門学校の証明書は不要です。提出された場合も選考書類には含めません。

Q 口述試験の日程を選ぶことはできますか。

A 日程を選ぶことはできません。受験票公開時に日時についてご案内いたします。指定された日時に受験してください。

Q 郵送した提出書類が届いているかを確認するにはどうしたらいいですか。

A 利用した輸送機関の追跡サービスでご確認ください。各社Webサイトより確認することができます。到着済みの状態となっていれば、受け付けされています。書類不備などがある場合にのみ大学より連絡を行う場合があります。

Q 10月入学や、秋期入学制度はありますか。

A 秋期入学制度はありません。4月入学となります。

Q 合格発表は大学Webサイト上で発表されますか。

A 合格発表日の10:00にWeb出願システムにて、合格発表を行います。

Q 他の大学院を既に卒業していますが、大学の卒業証明書や「学士」学位取得証明書は必要ですか。

A 大学院入学資格を確認するために「大学の卒業証明書」と「『学士』学位取得証明書」が必要です。

Q 出願書類の一部が期限に間に合いません。期間外に追加で送付してもいいですか。

A 期間外に到着した書類は受け付けできません。全ての書類が期間内に到着するよう手配してください。



■ JR「京都駅」より

市バス 5系統 / 銀閣寺・岩倉行「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車 (所要時間約 50 分)

■ 地下鉄「北大路駅」(北大路駅バスターミナル) より

市バス 204系統循環 銀閣寺方面「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車 (所要時間約 15 分)

※地下鉄北大路駅へは JR 京都駅より約 15 分

■ 京阪「出町柳駅」より

市バス上終町 3系統 / 上終町・瓜生山学園 京都芸術大学行「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車 (所要時間約 15 分)

叡山電車 (京阪出町柳駅乗りかえ) 茶山・京都芸術大学駅下車、徒歩約 10 分

■ 阪急「京都河原町駅」より

市バス 5系統 / 銀閣寺・岩倉行「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車 (所要時間約 30 分)

市バス上終町 3系統 / 上終町・瓜生山学園 京都芸術大学行「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車 (所要時間約 30 分)

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。

※本学には駐車場がありません。車・オートバイでの来学はご遠慮ください。

※本学の最寄りのバス停は「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」です。